
「海の生き物を守る会」メールマガジン No. 79

2011.5.16 (月)



Association for Protection of Marine Communities (AMCo)

Homepage : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

「今月の日本の海」 石垣島玉取崎から見る伊原間海岸

琉球列島の南端の八重山諸島の中心が石垣島である。石垣島の東北に長く突きだした平久



保の半島の根元に玉取崎がある。ここから見る井原間海岸の展望はまさに秀逸である。沖縄本島の海岸のようにコンクリートで固められていない素

のままの海岸が広がっている。海岸沿いの道路も造られていない。海岸林も残されている。景観に配慮した海岸保全が行われている。このちょうど反対側の西側で、環境省のモニタリング 1000 のアマモ場調査が行われている。(石垣島にて 向井 宏撮影)

目次 「今月の日本の海」 石垣島玉取崎から見る伊原間の海岸

1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース
2. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報
3. 海の生き物とその環境に関する出版物
4. きらめく動物たちの命と海 久保田信の白浜だより（その6）
5. 事務局便り
6. 編集後記

●支援金 どうもありがとうございました

「海の生き物を守る会」では、将来、南三陸町自然環境活用センターの復旧をお願いするために、支援金を募集しておりましたが、5月6日でいったん募金を締め切りました。短期間でしたが、15名1団体の方から32万3千円のご支援をいただきました。ご支援いただいた方々に深く感謝いたします。いただいた支援金は、時期を見て南三陸町長に贈り、南三陸町自然環境活用センターもしくはそれに代わる活動の復活をお願いする予定です。

1、海の生き物とその生息環境に関するニュース

【国際】

●アイスランド ナガスクジラ捕鯨を一時中断

アイスランドは、日本と共に IWC（国際捕鯨委員会）の決定を保留し、捕鯨を続けている国である。しかし、アイスランドでも捕鯨業者はロフソン社一社のみである。アイスランドでは、ミンククジラ漁と絶滅危惧種であるナガスクジラの漁が行われてきたが、これらの捕鯨は、ミンククジラの一部がアイスランド国内で消費されるのみで、ほとんどの鯨肉は日本への輸出を前提に行われている。しかし、最近の日本での鯨肉の需要の低下により、ロフソン社には 2,000 トンを超える鯨肉がだぶつき、輸出もほとんど見込めないことから、この度、ロフソン社は 30 名の社員を解雇して、捕鯨を中止することを決めた。7月に行われる IWC の会議以降に再開する含みを持たせているが、先行きは不透明である。

捕鯨を中止した理由として、ロフソン氏は、日本との取引が困難であること、津波被害によってさらに輸出ができなくなる可能性があること、アイスランドにはナガスクジラの鯨肉の市場がないこと、アメリカの制裁を受ける可能性があること、ドイツとオランダの議会が、アイスランドの EU 加盟の条件としていかなる捕鯨の続行も認めないと決議されたことなどを挙げた。ロフソン社によって、過去 5 年間に 280 頭のナガスクジラが捕殺されている。

●海の放射性物質、2年以内にアメリカ西海岸へ IAEA

国際原子力機関 (IAEA) は、福島第一原子力発電所の事故で海に流れ出した放射性物質は、2年以内に北アメリカ大陸の西海岸に到達するとの予測を発表した。ただし、濃度は低いレベルであり、問題はないとしている。また、IAEA は、日本へ原発事故調査団を5月中に送ることを明らかにした。調査団は福島第一原発以外にも福島第二原発や女川原発なども調査対象とする。

【全国】

●海洋産業研究会「海からの視点による復興方策の提案」を発表

海洋に関わる研究者・行政と企業などで構成している「海洋産業研究会」は、「海からの視点による復興方策の提案」について発した。提案の要旨は以下の7テーマ16項目である。
<http://www2u.biglobe.ne.jp/~RIOE/> 第二次海洋基本計画の柱の一つに沿岸・海洋防災を入れるよう提案している。もっとも企業の海洋事業への参入を中心にしている研究会なので、海洋土木事業の推進が中心。海洋生態系へのまなざしはほとんど見られない。

「海からの視点による復興方策の提案」<要旨>

1. 浮体（マリンフロート）の活用
 - 1-1. 浮体式広域防災基地の拡充整備
 - 1-2. 各種フロート（インフラ利用、漁港利用等）の整備
2. ガレキの詳細調査と活用方策の検討
 - 2-1. 沖合海域、漁場等の海底ガレキの詳細調査と撤去
 - 2-2. ガレキ利用による津波減災用バリア・アイランドの造成
 - 2-3. ガレキ利用による海底マウンド（津波減災、人工魚礁用等）の造成
3. 海洋調査観測船の活動状況の「見える化」と災害時の一体的運用
4. 水産業の復興
 - 4-1. 鉄鋼スラグ型・アミノ酸混和型等の新素材利用による藻礁整備等による漁場再生
 - 4-2. 造船（修繕）ヤードの集約整備による漁業等の産業再生、雇用機会の創出
 - 4-3. 「震災復興漁業基金」（仮称）の創設
5. 東海・東南海・南海地震への備えの充実
 - 5-1. 海底地震・津波観測ネットワーク（DONET）の拡充整備
 - 5-2. GPS 波浪計の拡充とデータの活用
 - 5-3. 東京湾防災アクションプランの作成
6. 海洋再生可能エネルギーの利用促進
 - 6-1. 海洋再生エネルギー利用に活路を
 - 6-2. 漁業協調型洋上ウインドファームの展開
 - 6-3. 波力発電をはじめとする海洋エネルギーの実用化

【東北】

●東北沖の海藻から高濃度の放射能を検出 グリーンピース調査船

国際環境保護団体のグリーンピースは、調査船「虹の戦士号」（555トン、オランダ船籍）による福島沖の海洋調査を日本政府に申請していたが、領海内に入ることを日本政府から拒否されてきた。そこで、グリーンピースは、領海（12海里）の外側で、浮遊している流れ藻を採集し、放射能の測定を行った。その結果は、以下の通りで、ホンダワラ科のアカモクで、1kgあたり10,000ベクレルを超える高い放射能を測定した。核種は同定していないが、おそらく放射性ヨウ素が主な成分であろうと思われる。

年/月/日	サンプル採取地	サンプル種類	測定値(ベクレル/kg)
2011/5/3	福島第一原発から南東 53km 地点で浮遊	アカモク(ホンダワラ科)	13000 以上
2011/5/4	福島第一原発から南 65km 地点で浮遊	アカモク(ホンダワラ科)	109
2011/5/4	福島第一原発から南 65km 地点で浮遊	ヒジキ	102
2011/5/4	福島第一原発から南 65km 地点で浮遊	アカモク(ホンダワラ科)	検知能力以下
2011/5/4	福島第一原発から南 62km 地点で浮遊	アカモク(ホンダワラ科)	検知能力以下
2011/5/4	福島第一原発から南 56km 地点で浮遊	アカモク(ホンダワラ科)	検知能力以下
2011/5/4	福島第一原発から南 東 52km 地点で浮遊	アカモク(ホンダワラ科)	12000 以上
2011/5/4	福島第一原発から南 東 52km 地点で浮遊	アカモク(ホンダワラ科)	13000 以上
2011/5/5	福島第一原発から北 東 45km 地点で浮遊	アカモク(ホンダワラ科)	2233
2011/5/5	福島第一原発から北 東 42km 地点で浮遊	アカモク(ホンダワラ科)	1530

一方、領海外からだけでは調査は不十分なため、沿岸で東北地方の漁師による協力で採集した魚類、貝類、海藻類についても放射能の測定を行った。その結果、海藻類の測定結果を次の通り発表した。とくに福島第一原発から南へ約 30km から 65km に位置する福島県久

ノ浜港や四倉港、江名港、勿来港からの海藻類はいずれも 10,000 ベクレルをはるかに超える高濃度の放射能が観測されている。

年/月/日	サンプル採取地	サンプル種類	測定値(ベクレル/kg)
2011/5/3	宮城県 日門港	ホソメコンブ	123
2011/5/4	福島県 釣師浜港	ワカメ	177
2011/5/4	福島県 釣師浜港	アカモク(ホンダワラ科)	1114
2011/5/5	福島県 久ノ浜港	ホソメコンブ	19000 以上
2011/5/5	福島県 久ノ浜港	フクロノリ	16000 以上
2011/5/5	福島県 四倉港	カヤモノリ	14000 以上
2011/5/5	福島県 四倉港	ホソメコンブ	18000 以上
2011/5/5	福島県 江名港	タンバノリ	4609
2011/5/5	福島県 江名港	アカモク(ホンダワラ科)	21000 以上
2011/5/8	福島県 富神崎南	アカモク(ホンダワラ科)	23000 以上
2011/5/9	福島県 勿来港	アカモク(ホンダワラ科)	11291
2011/5/9	茨城県 河原子港	アカモク(ホンダワラ科)	987

●政府としても調査を強化したい 細野首相補佐官

グリーンピースが発表した海藻類の放射能調査結果について、細野豪志首相補佐官が質問に答えて、「コウナゴでも 10000 ベクレルという結果が出ているので、海藻でもありうる」としたが、「調査方法などについて適切なものか確かめたい」とグリーンピースの調査方法への疑問を述べた。ただ、「グリーンピースの調査結果を無視することはしない」とし、「政府としても調査を強化し、危険性を確認する」とした。グリーンピースでは、細野補佐官の発言に一定の評価をした上で、安全性が確認されるまでの間、海藻類の収穫を一時中止すること、収穫中止によって生じる被害を全額補償することを要求している。さらに詳細な調査をするために、領海内への「虹の戦士号」の立入を認めるよう要求している。なぜ日本政府はグリーンピースの領海内の調査を認めようとならないのであろうか。日本政府による調査結果しか信じないというかたくなな態度では、必要な情報さえも十分に集めることができない。世界は日本政府の発表する調査結果とグリーンピースの調査結果のど

ちらを信用するだろうか。政府の発表は世界からまったく信用されていない。都合の悪い情報は隠そうとするからだ。

●青森県 ウニ・アワビ増殖場の被害は軽微

青森県は、津波が襲った東海岸の八戸市と階上町のウニやアワビの増殖場の一斉調査を行った。調査は、県内の増殖場を船の上から目視や魚探で調べた。ウニ、アワビの増殖場とは、自然石やコンクリートブロックを水深10m付近の海底に沈め、ウニやアワビの餌となる海藻を育成して、ウニやアワビが増えるようにした施設のこと。これまでの調査では、階上町の3個のコンクリートブロックが流失したことが判明したが、全般に被害はきわめて軽微だったようで、県の担当者は胸をなで下ろしていた。

●水産復興特区構想に漁業者反発

宮城県の村井嘉浩知事が、政府の復興構想会議で「水産業復興特区」を提案し、民間企業へ漁業権を認める考えを示したことに、県漁協連合など漁業者は反発を強めている。この構想は養殖業などの特定区画漁業権を漁業組合以外の企業にも認めるというもので、漁協が一手に握っていた区画漁業権の自由化を目指すもので、一部の専門家は「企業の参入で水産業の衰退に歯止めがかかる」と高く評価している。しかし、漁業者らは「生産意欲が減退する」「漁師がサラリーマン化する」「企業は儲けるだけ儲けると後のことは考えないで撤退していく」と反発は大きい。TPPへの参画を意図している菅政権のもとでの漁業権の自由化は、将来の歯止めなき自由化が危惧される以上、どさくさまぎれのやり方はけっして奨励されるものではない。漁協による漁業権独占にも問題があるが、企業ベースによる沿岸環境の悪化はさらに危惧される。地元の生活や文化と結びついた持続的な水産業をいかに構築していくかという視点から、もう一度考え直す必要があるだろう。魚が捕れば良いというものではない。

●高田松原の「一本松」守ろう

岩手県陸前高田市の高田松原は、全長 2km におよぶ砂洲に植林した 7 万本のクロマツやアカマツにより、白砂青松の風景として日本百景にも指定されていた景勝の地であった。3月11日の大津波でほぼ全滅。唯一 1 本だけ残った「一本松」は、地元では復興のシンボルとしている。しかし、海水をかぶったため枯れる危険があり、地元の「高田松原を守る会」では、兵庫県洲本市の樹木植物環境コンサルタントの東田輝幸さんの助言と無償の薬剤の提供の応援を得て、「一本松」の保護に取りかかった。守る会の副会長小山芳弘さんは「住民の守るものはもうこの松しかない。絶対に枯らしたくない」と東田さんの支援を歓迎している。

【関東】

●震災でアワビ稚貝が全滅

茨城県鹿嶋市平井にある茨城県栽培漁業センターでアワビの稚貝 100 万個が、津波の被害によって全滅していたことが分かり、今年以降のアワビの放流ができなくなった。このため、茨城県沖のアワビ漁業に大きい影響が出ると予想されている。津波が同センターを襲い、海水の取水管が折れるなどしたため、海水の循環が止まり、稚貝が全滅した。センターの復旧の見込みは立っていない。アワビの放流は毎年行われており、放流後 3 年ほど経つと漁獲サイズの 11cm 程度に成長するため、数年は漁獲が期待できるが、その後漁獲量が減るおそれがあるという。茨城県のアワビ漁獲量は 2009 年度約 21 トンで、そのうち 7~8 割が放流したアワビだと見られる。自然資源の津波被害はよく把握できていない。

【近畿】

●串本で磯打ち網漁始まる アオリイカの伝統漁法

海面を棒で叩いて追い込み一網打尽にする伝統的なアオリイカ漁「磯打ち網漁」が、和歌山県串本町津荷の海岸で始まった。アオリイカは海岸の磯に生えた海藻に産卵に来る。そこを狙った伝統漁法で、二人一組になり、追太棒（おうたぼう）とよばれる木の棒を使って海面を叩いてイカを網に追い込むもの。現在、9 戸の漁師が 4 ヶ所の漁場で「磯打ち網漁」をくじ引きによって順番に行っている。

●兵庫県 日本海の佐津海岸でダンゴウオ繁殖 西日本で初確認

ダンゴウオは冷水性の魚で、下田半島以東、以北で繁殖する。北海道の海では普通に見られる。体長が 5cm 未満と小さく、その姿が可愛らしいことから、近年ダイバーらに人気になっている。宮城県南三陸町の志津川湾では、ダンゴウオツアーも企画されるほどの人気である。体色はさまざまに変異し、しかも背景に応じて体色を変化させるために、さまざまな色模様を持つ。

兵庫県香美郡香住区訓谷の佐津海岸で、日本海側としては貴重なダンゴウオの生息地が発見され、しかも全国でも確認例が少ない繁殖が観察された。西日本で初の生息も確認された。確認されたのは水深 7m の岩礁域で、雄が卵塊を守る姿や、孵化したばかりの稚魚が見られた。発見したのは、南三陸町でダンゴウオを研究しているダイビングショップの経営者佐藤長明さん。地元のダイビングショップが招いてダイビングイベントを行っているときにダンゴウオを発見した。佐藤さんのダイビングショップ兼自宅は津波に流されてしまったが、「志津川湾のダンゴウオもかならず生き残っている」と述べた。

【中四国】

●岩国にゴマフアザラシ？ 出現

山口県岩国市でゴマフアザラシと思われる個体 1 頭が目撃された。場所は岩国新港の岸壁近くの海。目撃した人が携帯電話のカメラで撮影した映像から、しものせき水族館のスタッ

フがゴマフアザラシらしいと推測した。本来の生息地から遠く離れた瀬戸内海でアザラシが発見されるのはきわめて珍しい。何があったのかと住民は興味津々。

●ハマヒルガオ可憐 西日本各地の海岸で開花

九州や四国など西日本の温暖な海岸の砂浜で、ハマヒルガオが一斉に開花し始め、海岸には淡いピンクの花が潮風に揺れる風景が見られ始めた。見頃は今月いっぱいという。ハマヒルガオはヒルガオ科に属する多年草で、全国の海岸に生育している。しかし、近年砂浜海岸の陸側を道路が走ったり、防波堤を作ったりして砂浜がコンクリート化され、ハマヒルガオの生育も見られるところが少なくなった。さらに砂浜の消失が続いている。ハマヒルガオもやがて絶滅危惧種になるかもしれない。

【九州】

●県内海水浴場で水質調査開始

熊本県の主要海水浴場の水質調査が始まった。年間 5000 人以上の海水客が訪れる海水浴場は県内に 18 ヶ所あり、それぞれの海水浴場で、透明度、糞便性大腸菌数、化学的酸素要求量 (COD) などを測定し、6 月中旬頃結果を、海水浴場として適しているかどうかの目安として「適 (AA)」「適 (A)」「可 (B)」「可 (C)」「不適」の 5 段階で評価、発表する。昨年は、調査した 19 ヶ所のうち 18 ヶ所が「適 (AA)」で、1 ヶ所が「適 (A)」、それ以下のところはなかった。熊本県内の海水浴場では、ほぼ水質はきれいだと言えそうだ。

2. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報

【国際】

●アジア湿地シンポジウム in サバ, 2011年5月1日

期日:2011年7月18日~20日

場所:コタキナバル (マレーシア、サバ州)

<http://www.awssabah.com.my/index.php>



ASIAN WETLAND SYMPOSIUM (AWS) SABAH 2011

KOTA KINABALU, SABAH, MALAYSIA (18-20 JULY 2011)

【北海道】

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+ゲストトーク in 札幌

日時：2011年6月4日（土曜日）第1部...12:00 受付開始、13:00 上映、16:00（有）三素の家次敬介さん講演／第2部...17:30 受付開始、18:30 上映／第3部...21:30 上映

場所：北海道札幌市中央区南6東1-2(地図) PROVO/ケーアイビル 3F

【参加費】1000円（要メール予約・1度の上映に50名まで）

【主催】PROVO/ <http://www.provo.jp/>

【問合せ・予約】吉田/011-211-4821/ shop@provo.jp

【東北】

●東日本大震災 被災地支援ボランティア 参加者募集

OWSではこれまで石巻市周辺の被災地支援活動を実施してきましたが、このたび、新たに福島県いわき市の水族館「アクアマリンふくしま」復旧のお手伝いをさせていただくことになりました。「アクアマリンふくしま」は、幸いにも人的被害はなかったものの、海に面した立地のため、甚大な津波被害をこうむりました。しかし、地元復興のシンボルとなるべく一日も早い再開に向けて、スタッフの皆さん一丸となって復旧に取り組んでいます。

館長の安部義孝氏はOWSの古くからの会員であり、これまでイベント協力や会報への執筆、写真展開催など、さまざまな活動で提携して活動してきた経緯があります。皆さまのご支援・ご協力をお願いします。

実施日 2011年6月10日（金）夜～6月12日（日）

場所 「アクアマリンふくしま」 福島県いわき市小名浜字辰巳町 50

作業内容 清掃、資材運びなど再開に向けた雑務

定員 8名

集合 6月10日（金）18:00 OWS事務局

費用 諸費用分担となります

※宿泊はいわき市内のビジネスホテル（2泊）を利用します。

※詳細はOWS事務局までお問い合わせください。

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 秋田市保戸野金砂町

日時：2011年5月20日（金曜日）第1回上映 14:00／第2回上映 18:30

場所：秋田県秋田市保戸野金砂町 2-37(地図) あきこうまえ茶屋

【参加費】1000円（第1回...お菓子和飲み物込／第2回...油ソバと飲み物込）

【主催】環境と暮らしを考える集い

【問合せ先】ムトウ/070-5479-8506/ konohanamoko@yahoo.co.jp

【関東】

●日本湿地ネットワークシンポジウム「日本の湿地を守ろう！」

皆様とシンポジウムでお会いし、意見交換や交流を図りたいと存じます。どうぞご参加お願いします。

日時：2011年5月22日（日）13:00～16:30

会場：木更津市中央公民館 木更津市中央 1-15-4 電話 0438-25-4582

参加費：500円（資料代）

プログラム 13:00～16:30

- ・基調講演「干潟・湿地の経済的価値について」

関東学院大学教授 安田八十五

- ・講演「ラムサール条約ルーマニア会議に向けて」

釧路公立大学教授 小林 聡史

- ・各地の報告と意見交換

★シンポジウム終了後、懇親会を午後5時30分より

参加費：4,000円（要事前申込）

●エクスカーション「盤洲干潟を歩く」

日時：2011年5月21日（土）12:30～（昼食をすませず）

集合場所：グランパークホテルエクセル木更津ロビー

JR木更津駅東口 徒歩4分 電話 0438-22-4123

移動手段：タクシー（片道6km）

見学時間：13:00～15:00（最大干潮時間：13:25）

参加費：2,000円（要事前申込）

主催：日本湿地ネットワーク

●[倉沢栄一 追悼写真展](#)

故倉沢栄一さん（海の生き物を守る会会員） 追悼写真展 のご案内

2010年7月21日、自然写真家 倉沢栄一さんが49歳でお亡くなりになりました。

自然と人が大好きだった倉沢氏は映像とその人柄を通じて、多くのものを私達に残してくれました。そんな倉沢さんの思い出をみんなで語る場所を作れたらという思いも込めて、倉沢栄一追悼写真展を開催する運びとなりました。会場となる新橋「BOX」のオーナー伊藤久海子さんは倉沢さんの大ファンでした。倉沢氏が生前に行ったジュゴンの講演会を聞いた久海さんは、絶滅させないためにご自分のお店にジュゴンのオブジェを飾ることを決めたのだそうです。そうして店内の天井から吊るされた大きなジュゴン、そのしっぽには倉沢氏によるサインが残されています。倉沢栄一さんご自身や発信してくれた多くの映像を通じて、自然や動物を考えるきっかけになったり、影響を受けた方々が日本全国、そ

して世界にも多数いるのではないのでしょうか。30年の歳月をかけて、倉沢栄一が撮影し続けてきた作品をご覧頂けるよう考えています。手作りの写真展ではありますが、皆様のお力を借りながら進めていきたいと思っております。

倉沢栄一追悼写真展実行委員会

場所：新橋「BOX」 <http://shinbashi-box.com/> 電話 03-3571-6020

東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル 1号館 B 1（JR新橋駅汐留口から直結徒歩1分）

「追悼写真展」への入場は無料ですが、「BOX」は写真ギャラリーではなく、カフェ・居酒屋になっております。お茶やお酒、食事と共に倉沢氏の写真をご覧頂ければと思っております。

期間：5月9日（月）～6月3日（金）土日休み 営業時間：11：00～23：00

【偲ぶ会&宴】

★5月21日（土）

★場所：新橋「BOX」

※倉沢氏の誕生日と一周忌を19日に予定しておりましたが、5月21日（土）に変更になりました。

16：30 受付開始

17：00～18：00 偲ぶ会

18：00～21：00 宴（食べ物飲み物付き）

参加は会費制にさせていただきます。偲ぶ会のみ参加：1,500円

宴までのご参加：7,000円 偲ぶ会と宴両方の参加も7,000円となります。

メールを下記ご記入の上、事務局まで[メール](mailto:kurasawa0519@gmail.com)ください。折り返し確認メールを返信させていただきます。

1. 「偲ぶ会」のみ参加 / 「偲ぶ会」& 「宴」両方参加
2. お名前（おなまえ）
3. メールアドレス
4. 当日連絡先（携帯電話など）
5. 一言コメント

事務局連絡先：kurasawa0519@gmail.com

主催：菅原和義・金森純子・藤岡眞理・伊藤久海子・小林佳代

事務局：倉沢栄一追悼写真展事務局 藤岡眞理 代表 美濃部由紀子・中尾恵里

電話：03-3547-0169 Fax：03-3547-0069

東京都中央区築地 2-7-6 築地田村ビル 4階

賛同者：小豆畑周子 飯嶋雅明 山本正徳 前島一夫 新川佳伸 津田政明

石崎光教 宮本操 田渕司 飛坂郁子（順不同 肩書き敬称略）

*写真展の新聞雑誌への告知広報してくださる方、HPやブログなどにリンクを張って下さ

の方、相互リンクをさせていただきますので、ご連絡ください。

*またお手伝いしていただける方、ご協力いただける方、ご支援頂ける方、等々も随時募集しております。

●OWS 第59回海のトークセッション

「うみのいえ～海底のゴミから見えてくるもの～」

ゲストスピーカー：大塚幸彦（水中写真家・日本写真家協会会員）

「海に潜り始めて、33年になりました。その間、海底環境の変化とそれに伴う数多くの海底の生き物たちの営みを見てきました。私は今、大都会に近い海である西伊豆と、大都会のど真ん中であるお台場の海にベースを置いて、撮影活動を続けています。ゴミ、公害、環境問題……。これらを眉間にしわを寄せて難しく語るのではなく、小さな子供から年配の方まで楽しみながら感じていただける写真が盛りだくさん。ぜひお楽しみください。」（大塚幸彦）

開催日 2011年5月17日（火）19：00～20：30（18：30受付開始）

会場 モンベル渋谷店 5Fサロン

渋谷区宇田川町11-5 モンベル渋谷ビル

参加費 OWSメンバー：500円／非会員：800円

申込み OWS事務局までお申込みください。

⇒ <http://www.ows-npo.org/activity/ts/index.html#ts59>

大塚 幸彦（おおつか ゆきひこ）プロフィール

1958年 山口県に生まれる。'78年大学在学中にダイビングと水中写真を始める。以後は独学で水中写真を学び、伊豆の海をベースに世界各国の海で海洋生物の生態を写真に記録。最近はライフワークとして「海洋環境」ジャンルの写真を精力的に発表している。「海底からのメッセージ」「氷の妖精」「ハーブシールの海」「タテゴトアザラシの可愛さに魅せられて」「イノチとモノのゆくすえ」「イノチと海の物語」など多くの写真展や個展を開催。



●【緊急】東京都内周辺の油汚染野鳥情報を募集

震災の影響により、東京湾内でカモメ類、カモ類、カイツブリ類を中心とした油曝汚染が多数発生しています。東京湾内のみならず、皇居、不忍池、隅田川(荒川区)、月例探鳥会開催地各所など内陸の河川、湿地でも確認されております。

詳細参考サイト [北日本太平洋岸の湿地等の東日本大震災後の状況](#) 油汚染 > 東京湾沿岸西部（東京都・神奈川県）などをご覧ください。時間の経過に伴って、情報を逸散させることなく今後に備えて情報を収集する必要があります。また、冬鳥の渡去シーズンとも重なりつつありますので、情報収集を急ぐ必要があります。 [日本野鳥の会東京 研究部](#)

<http://homepage2.nifty.com/tokyo-birdstudy/> 鳥信コーナー情報募集 > 鳥信登録フォームを使う [日本野鳥の会 東京支部 鳥信登録フォーム](#)

http://www.bird-research.jp/~tokyo_choshin/index.html より、情報を投稿ください。

●鎌倉の浜辺植物観察会

鎌倉の浜辺には、海岸特有の貴重な植物が生育しています。初夏はハマヒルガオなど海岸の植物が開花する季節です。潮風に耐えながら懸命に生きる海岸植物を観察します。また、台風の被害、国道の拡幅計画などで海岸植物が危機に瀕している現状も考えてみましょう。

開催日時 2011年5月29日(日) 午前10時00分から午後12時

集合：七里ガ浜海岸 (鎌倉高校駅下)

解散：七里ガ浜海岸 (七里が浜駅下) を予定

事前申込 必要なし

参加費 無料

持ち物 帽子、飲み物など

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 葉山

日時：2011年5月20日(金曜日) 開場18:00/上映18:30

場所：神奈川県三浦郡葉山町堀内2220 ([地図](#)) 葉山町福祉文化会館大会議室

【参加費】大人1500円/中高生1000円/小学生以下500円

【主催】逗子葉山倫理法人会 【問合せ先】タニグチ/046-876-6776

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 東久留米 ~前売券販売中

日時：2011年5月21日(土曜日) 午前の部...9:30 開場、10:00 上映/午後の部...12:45 開場、13:15 上映

場所：東京都東久留米市東本町8-14 ([地図](#)) 成美教育文化会館成美グリーンホール(西武池袋線・東久留米駅より徒歩4分)

【参加費】前売り...大人1000円、中学生以下500円/当日...大人1200円、中学生以下700円/うち200円を福島県へ寄付

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」を上映する会 in 東久留米

【後援】東久留米市、東久留米図書館友の会

【問合せ先】志藤/090-9151-9186/ 888higashikurume@mail.goo.ne.jp

【前売券販売先】 *かくしち 0424-76-8050 *ブルーランジェリー・ベー(大泉学園駅・北口/徒歩4分)/03-5387-3522/練馬区東大泉3-16-32 ユーポボヌール1F(定休日・月/日) *a new (アニュー) 大泉学園店(大泉学園駅北口・徒歩1分)/03-3978-4731/練馬区東大泉1-31-1 *志藤/090-9151-9186/ 888higashikurume@mail.goo.ne.jp *東久留米市役所・1F窓口 *東久留米南部地域センター *東久留米東部地域センター *東久留米西部地

域センター

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 北杜市

日時：2011年5月22日（日曜日）第1部 13:00 上映／第2部 16:00 上映／第3部 19:00 上映（開場はそれぞれ30分前）

場所：山梨県北杜市長坂町長坂上条 2575-19 ([地図](#)) 長坂コミュニティホール

【参加費】前売 1000 円／当日 1200 円／高校生・70 歳以上 700 円

【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」を北杜市で観る会

【問合せ先】風路／0551-36-3826／furo@kobuchisawa.gr.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 深川

日時：2011年5月29日（日曜日）開場 18：00／上映 18：20

場所：東京都江東区古石場 2-13-2 ([地図](#)) 江東区古石場文化センター

【参加費】1000 円 【主催】普通の市民が憲法を考える会

【問合せ先】戸井田／03-3642-8224／cat_of_life2@yahoo.co.jp

「ミツバチの羽音と地球の回転」チャリティー上映会 in 青山

日時：2011年5月29日（日曜日）開場 13:00／上映 13:30

場所：東京都渋谷区神宮前 5-53-67 ([地図](#)) 東京ウィメンズプラザ視聴覚室

【参加費】1500 円（震災復興支援金として経費以外はチャリティー）

【主催】エコ・コンシャス・ジャパン

【問合せ先】和田／090-5584-5456／yukiet@cablenet.ne.jp

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1」上映会 in 藤沢市

日時：2011年5月25日（水曜日）開場 13:00／上映 13:30

【会場】鎌田クッキングスタジオ

【参加費】400 円 【主催】藤沢ぶんぶんの会

【問合せ先】鎌田／080-3470-0034／patamama@jcom.home.ne.jp

※会場が狭いので事前にご連絡ください（個人宅なので連絡をいただいた時に住所をお知らせしたいと思います）。

「ぶんぶん通信 no.1」上映会＋鎌仲監督トーク in 港区

日時：2011年5月30日（月曜日）開場 18:15／上映 18:40／監督トーク 19：20

場所：東京都港区海岸 1-7-8 ([地図](#)) 港区立商工会館内研修室（東京産業貿易会館 6 階）

【参加費】1000 円 【主催】(株) 機関紙連合通信社

【問合せ先】 遠藤 / 03-3454-1105 / info@rengo-news.co.jp

● 瀬織あや監督作品 映画「祝の島」上映予定

日時	場所	会場	問合せ先
5月17日(火) 19:00～	愛知県 名古屋市	麻芽 2F 賽ノ目	052-243-7242 (Hemp&Natural 麻芽 カ トウ)
5月21日(土) 14:00～	東京都 三鷹市	明星学園高校 会議 室	090-3064-5563 (明星学園中学校内 川手)
5月22日(日) 19:30～	神奈川県 横浜市	神奈川公会堂	045-320-6868 (パパラギ 横浜店)
5月23日(月) 13:00～	東京都 小金井市	(株)健康館	042-387-6473 (耕納)
5月27日(金) 13:00～/19:30～ 5月28日(土) 11:00～/19:30～ 5月29日(日)	東京都 豊島区	La Grotte	090-6013-7722 (伊藤)

11:00~/19:30~ 5月30日(月) 13:00~/19:30~			
5月28日(土)~6月 3日(金) 詳細未定	岡山県 岡山市	岡山メルパ	086-221-0122
5月29日(日) 14:30~2回上映	北海道 帯広市	とかちプラザ	0155-36-0701 (帯広友の会 平山)
6月4日(土) 19:00~	神奈川県 相模原市	杜のホールはしもと 多目的室	042-760-3066 (市川)
6月4日(土) 18:00~	埼玉県 新座市	にいざほつとぷらざ 生涯学習センター4 階 多目的室	090-9006-7726 (山道) 090-9106-4331 (小野)
6月5日(日) 14:00~	東京都 多摩市	ナチュランド・シル フレイ隣 ヨガ道場	090-3804-3478 (小椋)

【東海・中部】

●第5回 親子で味わって知る表浜

2011年6月4日(土) 10:00~13:00

食べながら魚の骨をとってみよう~家でもできる魚類学~と魚の捌き方同時開催

子どもを対象に魚の骨学習と魚の捌き方を学びます。是非、親子で参加して下さい。

場所：JA 愛知みなみ赤羽根支店裏 生活会館

● スケジュール：

10:00～12:00 魚の骨学習（子ども）

講師：（独）水産大学校の須田有輔教授

10:00～12:00 魚の捌き方と地元野菜を使った料理教室（大人）

講師：小川 史氏

12:00～13:00 食事と魚の話

定員：子ども 30 人（対象：小学校中学年以上） 大人 30 人

料金：大人 1 人子ども 1 人（1,500 円） 大人 1 人子ども 2 人（2,000 円）

お申し込み：office@omotehama.org か、TEL 0532-21-1192 までお願いします。

●名古屋港水族館 海辺の生物観察会

自然の海岸で、身近な海の生き物たちのくらしを観察してみませんか？

※荒天時は野外での観察を中止し、希望者に水族館でのバックヤードツアーを行う予定です（入館料のみ必要）。

第 1 回 探検！潮だまりの世界 磯の生き物たち

平成 23 年 5 月 21 日（土）

場所：知多半島 豊浜海岸周辺

応募締切：平成 23 年 5 月 7 日(土)必着

●海の自然史研究会 COSIA

「科学コミュニケーション実践講座（COS）」の中のひとつ COSIA（コシア Communicating Ocean Science to Informal Audiences）の体験ワークショップを行います。COSIA は、科学館や水族館などインフォーマルな学習の場で海洋科学について伝えていくために、科学の本質、教授と学習の理論、質問の投げかけ方、物の活用の仕方、誰でも参加できるアクティビティのデザインなどについて学ぶ 10 のセッションからなる講座です。今回は、講座全体のコンテンツとコンセプトを理解していただくことを主な目的として 3 日間のワークショップを実施します。海洋教育、科学コミュニケーション、インフォーマル教育等に関心をお持ちの皆様の参加をお待ちしています。

※COS はカリフォルニア大学で開発された海洋科学を教える技術のスキルアップ講座で、海研では、カリフォルニア大学との契約に基づき、これを翻訳し日本での普及を進めています。詳細は[コチラ](#)をご覧ください。

日 時：2011 年 5 月 27 日（金）12：00～5/29（日）14：00

場 所：[生命（いのち）の海科学館](#)

（〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17-17 JR、名鉄蒲郡駅下車徒歩 3 分）

主 催：NPO 法人 海の自然史研究所

共 催：生命（いのち）の海科学館（予定）

対 象：科学コミュニケーションや海洋科学教育の実践に興味をお持ちの方

参加費：無料

申込方法：事前申込が必要です。フォームに記入の上、メールに添付してお送りください。

その他：

- 3日間のワークショップですが、宿泊は含んでいません。宿泊が必要な方は各自で手配してください。
- 本ワークショップでは1から10までのセッションを3日間かけて体験していただきますので通しで参加できることが望ましいのですが、どうしても3日間は参加できないという方は1日または2日の参加申し込みもお受けします。参加申込書にその旨を記載してください。- このワークショップは、日本財団の助成を受けて開催します。

問い合わせ及び申込書送付先：NPO 法人海の自然史研究所 TEL：098-936-2722

担当：今宮 noriko@marinelearning.org

【近畿】

●ぶぶん広がる日「上関原発について学ぶ会」と二つの演奏会

日時：2011年6月5日（日）10:00

～（三部構成）

場所：京都 法然院講堂 京都市左京区法然院町（哲学の道を東に入る）

プログラム：第一部 上関原発について学ぶ会（料金800円）

10:00～11:10 「ぶぶん通信 No.2」上映

11:10～12:10 向井 宏さん（海洋生物学者）による講演

12:40～13:30 田邊純子さん（祝島茶会主催）による講演

13:30～14:00 交流会

第二部 クリスタルボール演奏会（無料、投げ銭）

15:30～ 岡田路世（このえのこ店主）による演奏

第三部 チョコリンガーズ Live!

ぶぶん広がる日
2011年
6月5日（日）
場所：法然院講堂 9:30 開場
（三部構成）

10:00 開演 / 15:30 開演 / 18:00 開演 ☆

第一部 山口県上関に建設予定の上関原発について学ぶ会

10:00～ 「ぶぶん通信 vol.2」上映

11:10～ 向井宏さん（海洋生物学者）による講演

12:40～ 田邊純子さん（祝島茶会主催）による報告

13:30～ 交流会

第二部 クリスタルボール演奏会

15:30～ 岡田路世（このえのこ店主）による演奏

第三部 チョコリンガーズ Live!!

18:00～ Zimbabwe ショナ族の伝統楽器MBIRAの演奏

MBIRA と チョコリンガーズ

アフリカ・ジンバブエのショナ族は1000年向佐の楽器 MBIRA。
祖先の霊に感謝と捧げ、世界の事象すべてを奏でる。
チョコリンガーズの石科と果物は、ショナ族のMBIRAメーカー・アライヤの
Rinos Mukurirwa Simboti に師事。
MBIRA の「フーコン」はザンクワメ＝ミツハチの羽音。
この楽器を通して、自由に考えろ力、感性が羽音に乗って広がる!!

予約方法

第一部 800円

第二部 Free

第三部 前売 1200円

当日 1500円

075-755-9865 (5セ)

090-6335-6942 (5セカ)

shuhei_samechika@

gmail.com

18:00～ Zimbabwe ショナ族の伝統楽器 MBIRA の演奏

●沖縄辺野古に「ジュゴン保護区」を作ろう！ ライブと講演

米軍基地計画で注目の沖縄名護市の辺野古の海は、竜宮神の元であるジュゴンが目撃され、アオサンゴの大群落もある自然保護の特異地です。また、福島では今、かけがえのない国土と海に原発汚染がなお進行中です。沖縄の島と月と海を歌う恒例の海勢頭音楽にのせて、東日本大震災で死せる者を悼み復興を願い、私たち日本の未来に心を向けて祈りましょう。

日時：2011年6月5日（日）14:00～（二部構成）

場所：大阪 上牧 本澄寺本堂 高槻市上牧町2-6-31 電話 072-669-1897

プログラム

第一部 ジュゴンライブ

14:00～15:00 海勢頭 豊 & 「月桃の花」歌舞団

第二部 講演会 15:00～

「名護市の取り組み」東恩納たくま（市会議員）

「未来エネルギーの提言」 富田貴史（暦の研究者）

同時に、本澄寺境内でアトラクション&模擬店があります。

出しもの：エイサー、唄三線、流舞、バンドなど

堂内入場チケット：一般 2000円、障害者・シルバー 1500円、高校生以下 1000円

主催：映画 GAMA・MABUI 上映高槻・島本実行委員会

後援：ジュゴン保護キャンペーンセンター（SDCC） info@sdcc.jp

●沖縄に連帯する6.12京都集会

危険な普天間基地の即時閉鎖・返還を！ 名護市辺野古などへの真吉建設に反対を！

5.28日米合意（2010年）の撤回を！ 基地のない平和な沖縄、日本を！

日時：2011年6月12日（日）14:00～

場所：円山野外音楽堂（京都祇園・円山公園内）

プログラム

講演： 新崎 盛暉さん（沖縄平和市民連絡会代表）

仲村 善幸さん（へり基地反対協議会事務局長）

参加費：無料

主催：京都沖縄連帯集会実行委員会 連絡先：080-3794-0970

講演後、パレードを予定しています。

【中四国】

●上関自然の権利訴訟第8回公判

傍聴をよろしくお願ひ致します。傍聴希望の方は5月17日（月）までにお知らせください。

第8回公判

①日時 2011年5月18日(水) 11:00～

②場所 山口地方裁判所

③集会 傍聴希望の方は、傍聴券の配布や事前のミーティングが行われますので、当日は10時までにご参集ください。公判終了後、山口県林業会館で集会を開催します
長島の自然を守る会 代表 高島美登里

〒 742-1403 山口県熊毛郡上関町大字室津836

TEL 090-8995-8799 FAX 0820-62-0710 mail midori.t@crocus.ocn.ne.jp

●5・22ナメクジウオ観察会&新鮮海藻料理を味わう会のお知らせ

ナメクジウオは人類の祖先!?水産庁 R.D.B. (レッドデータブック) で危急種に指定されているナメクジウオ。ナメクジウオは「人類の祖先」と言われ、背骨がなく、脊髄はあるという進化の鍵を握る生き物です。愛知県蒲郡市や広島県竹原市では天然記念物に指定されていますが、近年、減少が著しく、絶滅に近い状態だと言われています。しかし、田ノ浦湾では毎年、元気なナメクジウオを見ることが出来ます。

採れたての新鮮海藻に舌鼓!また、上関周辺の海にはモズクやアカモクなど新鮮で美味しい海藻が沢山生えています。自分たちの手で採った新鮮海藻をその場で味わう会も企画します。上関の自然を目と舌で満喫してください。是非、こぞってご参加下さい。

1. 日時 2011年5月22日(日) 10:00 集合 16:00 帰着

2. 集合場所 上関町室津 上関町中央公民館 2F 研修室

3. 内容

①10:15～11:45 お話

「珍しい生き物の宝庫～田ノ浦の海の生き物について」貝類保全研究会 山下博由さん

「上関の食べられる海藻について」海藻研究所 新井章吾さん

②12:00～13:00 海藻採り

③13:00～14:00 昼食&海藻を味わう会

④14:00～15:00 ナメクジウオ観察

4. 参加費 大人 4,000円 子供 2,000円

5. 申込 5月19日(木)までに下記あてにお申込ください。

6. 注意事項

①天候によって船が出せない場合は中央公民館で昼食&海藻を味わう会を行います。

②船上は波しぶきや風がありますので、カッパや防寒対策、長靴などを準備してください。

7. その他

5月23日(月)も海藻や貝類調査などを行います。興味のある方はこちらにもご参加ください。

①日程 5月23日(月) 10:00 室津港駐車場集合

11:00 田ノ浦湾到着
12:30 田ノ浦湾出発
13:00 室津港帰着

②宿泊 前日から参加の方は

ア)「原発に反対する上関町民の会」事務所(室津)が使えます。1泊 1,000円。(布団・トイレ・自炊可能)

イ)「人々のつどいのいえ」(田ノ浦、祝島島民の会管理)が使える予定です。1泊 1,100円(布団は若干用意あり・トイレ・自炊可能)

長島の自然を守る会 代表 高島美登里

〒742-1403 山口県熊毛郡上関町大字室津836

TEL 090-8995-8799 FAX 0820-62-0710 mail midori.t@crocus.ocn.ne.jp

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会+竹村英明さん講演 in 広島市

日時:2011年5月29日(日曜日)

会場:昼の部...広島市市民交流プラザ北棟6階マルチメディアスタジオ(広島市中区袋町6-36) /夜の部...横川シネマ(広島市西区横川町3-1-12)

【プログラム】昼の部(広島市市民交流プラザ)...10:30上映、講演14:00 /夜の部(横川シネマ)...17:00上映、講演19:30

【参加費】映画鑑賞またはゲストトークいずれか参加の場合は1000円 /両方参加の場合は1800円 /中高生...主催者にお問い合わせください

【主催】チームミツバチ 【問合せ先】沖横田 /090-4658-3312 / okihideo@hotmail.com

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ぶんぶん通信」上映予定

「ぶんぶん通信 no.1, no.2」上映会 in 大田市

日時:2011年5月16日(月曜日)13:20「ぶんぶん通信 no.1」上映 /15:00「ぶんぶん通信」no.2上映

場所:島根県大田市三瓶町志学349(地図)ドマカフェギャラリー /大田市三瓶町志学349

【参加費】1000円 【主催】持続可能な未来へ go! go! プロジェクト

【問合せ先】中村 /080-1635-1845 / n-nori-1225@docomo.ne.jp

【WEB】<http://ameblo.jp/zizokugogo>

「ぶんぶん通信 no.1~3」上映会 in 出雲市

日時:2011年5月21日(土曜日)no.1上映...13:15 /no.2上映...14:30 /no.3上映...16:00

場所:島根県出雲市古志町下新宮2571(地図) 出雲古志古民家塾

【参加費】1100円 【主催】持続可能な未来へ go!go!プロジェクト

【問合せ先】 中村／ n-nori-1225@docomo.ne.jp

「ぶんぶん通信 no.3」上映会 in 大田市

日時：2011年5月30日（月曜日）開場 12:30／上映 13:20

場所：島根県大田市三瓶町志学 349 ([地図](#)) ドマカフェギャラリー

【主催】 持続可能な未来へ go! go! プロジェクト

【問合せ先】 中村 n-nori-1225@docomo.ne.jp 【WEB】 <http://ameblo.jp/zizokugogo>

【九州】

●大新田ビーチクリーン

海に行って潮風に吹かれてみませんか。浜辺にうちあげられたモノをじっと見つめて拾いませんか。「みんなで楽しく」をモットーに海岸清掃の仲間を募っています。

日 時：2011年6月26日（日）午前9時～10時 小雨決行 大雨中止

集 合：中津市大新田の浜（セブンイレブン奥）

持ち物・服装：長靴・帽子・手ぬぐいなど 作業のできる服装でおいでください。

連絡先：足利、メールは[こちら](#)

●屋久島 2011 ウミガメ 観察会

場所：屋久島町 永田前浜、永田いなか浜

開催期間：2011年5月15日～7月31日

開催時間：午後8時30分～午後11時

（受付時間は午後8時～午後8時30分まで。受付時間を越えますと受付できませんので、必ず時間内にお越しください） 1日80名 **予約制**

※完全予約制になっています。当日直接お越しいただいても、参加できない場合がございますのでご了承ください。

※観察会の予約は、別記の[観察会予約連絡先](#)までご連絡ください。 予約を済まれた方は、下記の時間に観察会場までお越しください。

受付時間：午後8時～午後8時30分

集合場所：[永田いなか浜](#)

※観察会は野外で開催されますので、雨具（風が強いのでカッパがおすすめ）をお持ち下さい

1. 午後8時30分から、永田いなか浜にて事前レクチャー（ウミガメの生態や観察方法についての説明）を行った後、ウミガメの上陸が確認されてから、係員が浜へご案内いたします。観察時間については、その日の条件によって 長時間待機していただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。

2. 観察者には記念品（ウミガメの絵はがき）を差し上げます。

3. 予約をされていない方は、当日お越しいただいてもウミガメ観察会には参加出来ない場合があります

ます。必ず事前にご予約下さい。

4. ウミガメは自然のものです。産卵を観察できない時もあることを十分にご理解の上、観察会にご参加下さい。

永田浜（前浜・いなか浜）に上陸するウミガメの保護と、砂浜周辺の清掃活動等に掛る経費の一部として、観察に来られる皆さんに、協力金を拠出していただくことになっております。

協力金：大人700円、高校生500円、中学生以下無料

団体割引（15名以上）500円

永田ウミガメ連絡協議会 TEL：090-8768-4281 FAX：0997-45-2484 時間：午後1時～午後5時

●鎌仲ひとみ監督作品 映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映予定

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 佐世保

日時：2011年5月29日（日曜日）

場所：長崎県佐世保市光月町6-17 ([地図](#))

★長崎県リレー上映会★ 【会場】佐世保コミュニティセンター／佐世保市光月町6-17 【プログラム】第1部...開場13:30、上映14:00／第2部...開場18:30、上映19:00

【参加費】前売り1000円 【主催】アースデイさせぼプロジェクト

【問合せ先】松口／0956-56-3756／earthdaysasebo@gmail.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 鹿屋市

日時：2011年5月29日（日曜日）

場所：鹿児島県鹿屋市大手町1-1 ([地図](#))

★鹿児島県リレー上映会 【会場】リナシティかのや鹿屋市民交流センター／鹿屋市大手町1-1 【プログラム】第1部...開場9:00、上映10:00／第2部...開場13:00、上映14:00

【参加費】1000円 【主催】ミツバチおおすみ

【問合せ先】下田／099-473-3487／info@shantihtown.com

「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会 in 日向市

日時：2011年6月4日（土曜日）開場18:30／上映19:00

場所：宮崎県日向市中町1-31 ([地図](#)) 日向市中央公民館

【参加費】1000円 【主催】「ミツバチの羽音と地球の回転」上映実行委員会

【問合せ先】三股／0982-53-6922／samansa@mirror.ocn.ne.jp

【沖縄】

●「じゅごんの里ツアー」参加者募集

見てみよう！ジュゴンの棲む海！

日時：6月24日（金）～6月26日（日）

ツアー費用：7万円（内訳：飛行機、宿泊2泊、船、レンタカー、ガイド料、保険、食事：1日目の夕食から3日目の昼食まで）

申込締め切り：5月30日（月）

*東京・関西発のツアーですが、現地参加も可能です。

協力：ジュゴンの里、二見以北10区の会

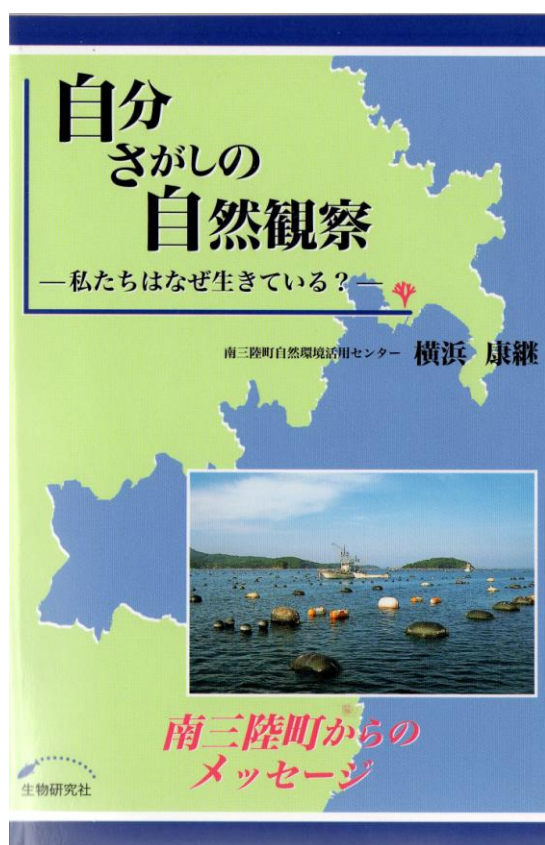
申込先：ジュゴン保護キャンペーンセンター

東京事務所：03-5228-1377 大阪事務所：06-6353-0514 メール：info@sdcc.jp

3. 海の生き物とその環境に関する出版物

● 「うみひろも」に連載した横浜さんのエッセイを出版

横浜康継「自分さがしの自然観察 —私たちはなぜ生きている？—」 生物研究社 pp.209
税込み1890円（2011）



校了寸前に東日本大震災で甚大な被害にあった南三陸町の自然環境活用センター長だった横浜さん。スタッフは全員無事だったものの、施設は津波によって壊滅した。「南三陸町からのメッセージ」という文句が書き加えられた本書は、当メールマガジン「うみひろも35号」から「同54号」まで20回にわたって連載した横浜さんのエッセイをまとめて出版したもの。連載では省略された部分も含めて書かれている。現在、南三陸町自然環境活用センターは復活していない。スタッフは解雇もしくは転勤などでばらばらになってしまった。「残された力を使い尽くすときが早くも来た」と書き加えた横浜さんたちの活躍が一刻も早く復活できる日が来ることを望みたい。

購入希望者には著者の紹介で20%割引が適用されます。ご希望の方は、メールで下記へ

お申し込み下さい。 hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp

4. きらめく動物たちの命と海 【久保田信の白浜だより(その6)】

アメフラシの至福と受難

春を告げるアメフラシの出現と消失が、黒潮の大蛇行の影響から特異な年になっている。定点観察をしている瀬戸漁港では、2005年3月中旬からアメフラシの普通サイズの個体が出現し始めた。2005年4月21日には、多数のアメフラシの卵塊が打ち上がった。

6月に入っても大形の個体が見られ、交尾もしている。産卵もずっと盛んで、岸壁やブロックなどに黄色い卵塊があちこちに産み付けられている。まるでラーメンを固めたようなものが大半だが、中にはオレンジ色のも見られる。このような卵塊は、俗称で“ウミゾウメン”と呼ばれている。なんだか美味しそうだが、食用には全然ならない。

白い個体も瀬戸漁港に久々に出現し、普通にいるまだら模様の個体とも交尾をしている(図1)。“ウミゾウメン”は、外洋に面した瀬戸漁港では波浪が強烈だとはがされてしまう。だが、同じポイントに再び産卵するのが観察された。しかも今年はアメフラシの数が例年よりも多いので、度重なる産卵により、だんだんと卵塊が巨大になっていった。あるものでは、長径数十cmにも達しており、厚みもある。



図 2011年5月7日に瀬戸漁港で交尾中のアメフラシの白色個体と普通個体

例年より遅くまで出現中のアメフラシ

瀬戸臨海実験所周辺の番所崎の岩礁でも、アメフラシはいまだに瀬戸漁港と同様の状態で、例年になく目立つ年だ。タイドプールなどに多数いる。番所崎では、2005年5月22日には、普通の模様で同サイズの4個体が重なっていた。つまり連鎖交尾をしている最中だった。一番下の個体が雌で、一番上は雄であり、中間の2個体は雄でもあり雌でもある。アメフラシは、雌雄同体の便利さで、他のウミウシ類がしない連鎖交尾をすることで、全個体が産卵し、子孫の数を多大な数にする仕組みだ。

2005年5月28日には、番所崎の先端にある水深1mほど、直径6mほどのタイドプ

ールに、少なくとも 23 個体が見られた。 丁度、2005 年 5 月 23~28 日に、臨海実習の指導で来所していた瀬戸臨海実験所出身で、現在は奈良女子大学理学部生物科の遊佐陽一助教授に、アメフラシの生活史についてお聞きした。遊佐助教授は、院生時代にこの類の繁殖生態を詳しく調べて学位を取った方だ。臨海実習に参加の学生たちが実験室で観察を行った結果によると、6 個体が連鎖交尾をしており、しかも輪になっていたとのことだ。このやり方だと、全個体が雌雄の役割をできるわけだ。今年のアメフラシのこれほど遅くまでの出現についてもお聞きしたところ、遊佐助教授が瀬戸臨海実験所にいた 1988~1996 年の期間中での出現時期と比較しても、今年は極めて遅くまでいるとの回答だった。同じ仲間だが小振りのクロヘリアメフラシも、同様にまだ見られていることを知らせて下さった。このようにアメフラシの消失が例年になく遅れている年であることは、私の観察とも一致していた。

沖縄のような亜熱帯地方にアメフラシはすめない。白浜産のアメフラシは、地球温暖化のせい、2000 年に南紀生物同好会会誌に記録してからは、不思議に普通の模様の個体も含めて個体数があまり見られなくなっていた。だが、今年は個体数も多く、また寿命をまっとうして消失する時期も遅くなっている。これは今年がこの 10 年で冬季低温だったのが影響しているのかもしれない。冬季に熱帯性の魚類の例年よりも大量の打ち上げが記録された事象とも関連しており、水温も過去最低を記録した年だったことなども影響しているのだろう。

アメフラシの生活史

遊佐助教授によると、今年出現している個体は昨年の晩秋から初春にかけて定着した個体から成長したものだという。暖かければ約 10 日間で、ウミゾウメンといわれる卵塊中でヴェリジャー幼生まで成長した後、海中で何カ月以上もの長期間のプランクトン生活を続け、底生生活への変態を遂げるのだ。肉眼で見えるベントスとなった幼体は、亜潮間帯に生育する紅藻類を主食として成長してゆき、春になるとよく知られたような、肉眼で見える大きさに達するそうだ。成長したアメフラシは、紅藻類のみでなく、褐藻や緑藻類も食べられるようになる。ただし、石灰藻のような硬い種類は食べない。そして海藻の消失とともに寿命をまっとうするのである。このように、すっかり海藻の生活史にあった一生をとるように進化したわけである。

不思議なことに、2005 年は 5 月下旬というのに、小形のアメフラシが番所崎では多数見られる。私が思うに、これらは 2 世代目の出現なのではないだろうか。この存在理由を推察したが、餌の海藻が少なくなっているため、食料不足で大形個体になれなかったものたち。あるいは、まだ成長段階のもの。まさか、いったん大きくなった個体が収縮して小さくなってしまったとは思えないが、可能性として考えておこう。おそらく前者が当たっていると思う。卵塊中で 10 日ほどでヴェリジャー幼生にまで育つので、4 月中の浮遊期間中に底生生活に変われる準備を整えば、5 月初旬には海底への定着も可能だろう。

というわけで、本年は、異例の年になったのではないかと思われる。今後も、いつまでアメフラシが見られるかということと、ここ数年の水温の変化との関係を調べてみると面白いだろう。

4. 事務局便り：

- この「うみひろも」は「海の生き物を守る会」のメールマガジンです。配信が迷惑と思われる方は事務局までご連絡ください。
- 企画案などその他なんでも本会の活動に関することは、事務局あてにお寄せください。
- このメールマガジンは、毎月1日と16日の2回発行の予定ですが、都合によって遅延や中止もあります。配信を希望する方、送りたい方がありましたらアドレスをお知らせください。また、パソコンを使えない環境の方には印刷体でもお届けします。その場合は、郵送料をご負担していただくことがあります。
- このメールマガジンは転載自由です。海の生き物に関心を持っている方に広く読んでいただくために転送をお願いします。ただし写真を別の目的で使用する場合は事前にご連絡ください。海の生き物や守る運動についての情報など、また各地で行われている海の生物の観察会、研修会、その他の行事に関する情報もお寄せください。「うみひろも」のバックナンバーは、ホームページからダウンロードできます。
- 本会は自然観察会や講演会を各地で実施しています。各地で開催を希望される方、開催をお手伝いできる方は、ご一報ください。また、各地の団体との共催も行います。ごいっしょに講演会や観察会をしたいと思われる団体からも提案をお受けします。
- 本会への寄付をお寄せください。寄付も会費も同じ銀行口座「ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会」へお送りください。なお、送金される場合は、送金の内容について事務局にお知らせ下さい。

5. 編集後記

東日本大震災と福島第一原発の事故から早くも2ヶ月が過ぎ去った。しかし、原発からの放射性物質の漏洩は続き、海が広範囲に汚染され始めている。東京電力と日本政府は、当初多くのデータを故意か不作為にか、隠し続けた。ようやく多くの情報を出すようになったけれども、これまでの態度が世界の人々に不信を抱かせているようだ。海の生き物に関する調査はこれからのようだが、収集した情報を隠さず示して欲しい。原発から撒き散らかした放射能に被曝するだけでなく、放射性物質を体内に取り込んでしまったら、その物質が体外に出るまで内部で細胞が被曝し、遺伝子の破壊が続く。内部被曝の恐ろしさは日本人は二度の原爆被災で身にしみて知っているが、政府もアメリカも表だって認めない。原爆訴訟がいまだに解決しない。海の生き物の放射性物質による汚染は、日本人に水産物の利用を将来にわたって許さないだろう。海の生き物が殺されれば、人間もいずれ殺される。脱原発は一日でも早い方がいい。

南三陸町の自然環境活用センターの復旧に向けての支援金、どうもありがとうございます。短時間でこんなに集まるとは、思っていませんでした。ぜひとも南三陸町のセンターで行われて来たような、自然環境に市民の立場から取り組む施設や取り組みが再び東北の地で行われるように祈ります。(宏)

海の生き物を守るためになにかしたい！というあなたに！

会員募集中です！

会員は本会の趣旨に賛同できる個人・団体とします。会費は個人 2,000 円／年、団体 20,000 円／年。匿名による参加も可能です。会員は、当会の名前を使って各地で海の生物とその環境を保護・保全する活動を行うことができ、そのための助成金申請をすることができます。活動は当会の発行するメールマガジンなどを通して広く通知されます。入会希望の方は、事務局 hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp (向井) まで、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。



メールマガジン『うみひろも』第79号

2011年5月16日発行

発行&編集人「海の生き物を守る会」

代表 向井 宏

〒606-8244 京都市左京区北白川東平井町 23-1

グリーンヒル北白川 23

TEL&FAX:075-703-7205 メールアドレス：hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp

ホームページ URL：<http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

銀行口座：ゆうちょ銀行 口座番号：10610-6673021 海の生き物を守る会